

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	茶道用炭づくりを通した里山整備と産業おこし事業
事業主体 (連絡先)	里山を生かす会 東筑摩郡筑北村坂北5473
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	579,759円(うち支援金:372,000円)

事業内容

- 炭焼勉強会(講演会)28/11/12 筑北村役場会議室
白石先生を招き講演会を開催した。参加人数19名
＜演目＞
①炭の作り方②炭の特徴③炭の仲間
④炭を使い役立てる
- 炭焼体験教室
3回に分けて行った。
1回目 28/11/13 参加人数6名
窯の構造と材料投入の状況
2回目 29/2/18 参加人数5名
火入れと温度管理について説明。
3回目 28/3/4 参加者5名
炭の取り出し、菊炭の評価
- 窯造り
10月21日より、設計図等準備をし、12月4日より
作業を開始し、3月10日に完成した。



事業効果

- 炭窯2基、上屋を作ることができ、薪を作っている2団体から、薪の端材の提供があり材料の間伐材3窯分(5.7㎡)以上の確保ができた。
- 茶道教室の開拓は表千家4か所裏千家1か所あった。炭問屋2か所との交渉、インターネットでの販売ができた。
- 炭焼勉強会、炭焼体験教室への参加者、また個々に炭窯製作中の見学者延べ人数で30名以上確保できた。
炭焼勉強会では、内容について多少難しいところもあったが、漠然としか理解していなかった炭の作り方、特徴、炭の仲間を知ることができた。又「④炭を役立てる」では今後の我々の行動の指針となるところでもあった。

【目標・ねらい】

- 炭窯を造り、目標の5.7㎡の間伐材の確保
- 良質な「菊炭」造りを学び、茶道教室、炭問屋等に販路の拡大を模索する。茶道教室の開拓10か所。
- 炭焼勉強会、炭焼体験教室を通して住民の参加を促し関心のある住民の掘り起こしを図る。参加者人数30名。

※自己評価【B】

理由

- 炭窯を完成し、間伐材の予定数量以上確保した。
- 茶道教室の開拓は少なかったが、問屋数は増え、インターネットでの販売もできた。
- 各イベントの参加者は、予定の16%増である。又、間伐材の提供があり、理解者を増やすことができた。

今後の取り組み

1. 窯を2基増やしたことによって、茶道用炭は新しい窯を使用し、既設の窯を一般に開放したり、竹炭を焼いたり、増えて困っているアカシヤ、松くい虫被害の松等の炭を焼くために使用する。
2. 今回の勉強会、炭焼体験教室で、地域内の活動グループと関りができたので、この先具体的な活動方針、計画書を作成し連携を深めて行く。
3. 原料の調達、炭の加工等分散して広く村民にかかわってもらう為に、筑北村就労センター、社会福祉協議会と協議していく。
4. 菊炭を新しい窯で何度か焼いて品質を高め、茶道教室で確かめながら、問屋等販売先との交渉で有利なものにする。